令和５年度　江戸川区立松江第二中学校　学校関係者評価　年度当初・中間報告書

学校教育目標	・すすんで学ぶ生徒 ・心の豊かな生徒 ・健康でたくましい生徒	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	＜学校像＞・生徒・保護者・地域から信頼される学校　・生徒一人一人の可能性を信じ、生徒の成長を第一とする学校・生徒自身の人生の基盤をつくることができる学校・生徒が夢をもち、生徒の輝く笑顔がいつも見られる学校＜生徒像＞・自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒　・思いやりの気持ちと豊かな心をもち、ルールを守る生徒　・意欲的に学力向上に努力する生徒　・積極的に体力向上に努力する生徒＜教師像＞・生徒の成長を第一とし、常に専門職としての資質・能力の向上に努める教職員　・「師弟同行」を胸に刻み、胸を張って生徒指導に取り組める教職員　・組織の一員として職責を十分理解し、互いに学び合い、高め合える教職員　・前例踏襲にとらわれず、生徒第一義の教育活動を実践できる創造力豊かな教職員・生徒・保護者・地域の方・教職員に対しても優しく温かい対応ができる教職員
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞・人権尊重教育を基盤とした魅力ある教育活動の実践（SDGs、ユニバーサルデザイン、人権尊重分科会による実践）　・サタデープロジェクト（自主学習教室）、放課後補習教室等による基礎学力の定着、学力向上（全国学力・学習状況調査、都平均より国語+2 数学-2 理科-1） ＜課題＞・家庭学習習慣の未定着者による基礎学力定着への一層丁寧な対応　・不登校及び不登校傾向生徒への個に応じた指導や支援の充実　・本校入学を選択する生徒数の増加		

教育委員会重点課題	＜取組項目＞　・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	＜学力の向上＞ ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着 ・補習教室の機会拡充、適切な課題提示、学習状況の把握と評価	・全国学力・学習状況調査の数値を上回る（昨年度、都平均より国語+2 数学-2 理科-1） ・生徒・保護者アンケートの「授業」の項目、高評価80%以上	B	C	・授業改善は目標の提示、グループ活動の工夫、振り返りの定着を中心に推進している。 ・全国学力・学習状況調査の数値が昨年度を下回っている（今年度、都平均より国語-7 数学-5 英語-12）	B	・生徒に、基礎基本の学力はつけさせてほしい。授業改善の推進は認める。	・より一層の授業改善に努める。教員同士の授業見学を含めた研修会を充実させていく。 ・生徒の苦手な分野を分析し、教員間で共有し、カリキュラムマネジメントを鑑み、方策を練る。
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・宿泊行事の事前事後学習で、探究学習の成果物を完成させる。 ・全校生徒へも呼びかけ、自主的な探究活動の場面を増やす。	・全生徒の読書科の探究活動成果物、完成 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の上位作品入賞 ・生徒・保護者アンケートの「読書科、調べ学習」の項目高評価80%以上生徒高評価90%以上 ・学校公開等での作品展示の保護者高評価90%以上	B	B	・探究学習成果物の提出状況は良好である。	B	・学校公開・文化祭等で作品を見学していく予定である。	・担当教員がそれぞれに適切な助言を行い、作品の完成度を上げていく。 ・読書科や文化祭等で直接生徒どうしで作品を見て学びあう機会を設定する。
体力の向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞	・生活習慣改善の呼びかけと自己管理の定着 ・保健体育授業時の補強運動の継続 ・オリパラ教育や掲示物により、スポーツに親しむ心の育成	・感冒・感染による学校・学級閉鎖なしの継続 ・体力テスト低評価（走る・投げる）の記録アップ ・生徒・保護者アンケートの「生活習慣・体力向上」の項目高評価80%以上	A	B	・感冒・感染による学校・学級閉鎖なしは継続している。	B	・このまま継続してほしい。	・基本的な感染対策は継続していく。 ・体力テストの結果を分析し、苦手な分野・つけさせた力を重点的に教育活動に組み込んでいく。
共生社会の実現に向けた教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・支援委員会で特性理解をベースに、具体的な支援策の共有 ・生徒、保護者のニーズに合わせた活用促進（オンライン授業。個別学習等）	・支援を要する生徒が通常の学校生活を送る（行動観察） ・生徒・保護者アンケートの「学校生活充実」の項目高評価90%以上 ・保護者アンケートの「個に応じた指導」の項目高評価90%以上	A	A	・支援を要する生徒にそれぞれの形で適切な支援を行うことができている。	A	・このまま継続してほしい。	・より一層丁寧な支援を行い、生徒の成長の形を表していく。その成果を引き続き共有し、次年度へつなげていく。
子どもたちの健全育成	＜子どもたちの健全育成に向けた取組＞ ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hypaer-QUの活用	・欠席増加（連続3日を目安）による初期対応と適切な支援 ・個別面談、SC面談等の情報共有 ・HyperQUの分析のよる要支援・不満足群への支援	・不登校生徒の減少（昨年度10） ・いじめ案件を限りなくゼロに近づける ・HyperQUの要支援・不満足群の改善（第2回QUでの数減少） ・保護者アンケートの「いじめ、相談」の項目高評価90%以上	A	B	・不登校の生徒数（今年度も現時点では10）はほぼ変化はないが、それぞれ個別に適切なケアを行っている。 ・本校転入後、登校できるようになった生徒もいる。 ・いじめ重大事態につながる事象は起きていない。	B	・学校が適切なケアをしていることは認める。不登校生徒の数を少しでも少なくしてほしい。	・生徒の特性。家庭環境に合わせた、より一層丁寧な支援を行い、”どこにもつながりがもてない”状況は絶対につくらないようにする。
地域に広く開かれた学校（園）の実現	＜自校（園）の取組の積極的な発信＞ ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	・ほぼ毎日更新をめざし、適切な情報公開の実施 ・土曜授業・学校公開の年10回実施 ・保護者会等の欠席者への適切な情報提供	・生徒・保護者アンケートの「情報発信」の項目高評価90%以上 ・学校公開時の保護者アンケート、高評価90%以上	A	A	・ほぼ毎日、学校情報を更新している。	A	・ホームページはよく更新されている。特に宿泊行事はリアルタイムで生徒の様子が分かり、保護者も喜んでいる。	・今後の土曜授業・学校公開は授業時数を鑑み、適切な回数に設定していく。（生徒の進路行事参加、行事後の健康面の配慮するため。）
	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学期ごとの生徒・保護者アンケートの実施 ・PTA役員会、学校評議員会による意見聴取	・生徒・保護者アンケートの「教育活動全般」の項目高評価90%以上 ・本校への肯定的な意見、9割以上	B	B	・学校公開時の保護者アンケートでは高評価の割合が大きい。（高評価9割以上）	B	・学校自体は大変落ち着いていて良いと考える。	・地域・保護者のニーズに合わせて。適切な学校評価を行っていく。 ・9月に行うアンケートを今後の教育活動に生かしていく。
特色ある教育の展開	令和3・4年度 都人権尊重教育推進校の成果を継続発展していく取組	・共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり（校内環境整備、講演会、道徳授業等）	・生徒・保護者アンケートの「人権尊重教育」の項目高評価90%以上	B	B	・常に人権尊重をベースにした、教育計画を遂行している。	B	・昨年の発表の成果を継続してほしい。	・11月の道徳授業公開講座では、人権尊重を主テーマに、授業を行う。